

【講義5】蔵書印について 篆書の読み方

青田 寿美

一、はじめに

典籍にはさまざまな印影が記されている。旧蔵者による蔵書印はもちろん、序文や跋文はその執筆者の印を伴うことが少なくない。浮世絵には落款印や版元印・改印が、書画幅にも引首印や落款印が認められる。印影を釈読するスキルを身につけることで、書誌情報の採録に際し、より豊かで有用な記述を行うことができる。

以下、印章に多く用いられる篆書体を取りあげ、その見方と読み方、判読を手助けする web ツールを中心に紹介し、簡便な篆書の字形学習方法について講述する。

二、読めない印影との付き合い方

(1) そもそも、古典籍の書誌情報 [印記] は何を採録対象とするのか

蔵書印コレクターが自らの蔵書に捺してその所有を示す印影

その他の印影

落款印 遊印 (詞句印) 仕切判 (店判) 住所印 貸本印 仕入印

図書館印 (受入登録印・寄贈印・小口印・隠し印・消印など)

“ 読めない ” 印があってもそれは致し方ないことであり、むしろ、“ 読まない ” 印を 0 [ゼロ] にしていく努力こそが、スキルアップと情報の蓄積・共有につながる。

(2) 次に、記録することの意義はどこにあるのか

旧蔵者情報としての蔵書印書物の来歴・出所・伝来の有り様を考究するための情報源。識語や奥書に類する役割。

流通情報としての書肆印等書物の流通・媒介者の実態を解明するための情報源。貸本印・仕入印と併せ、符牒にも注視する。

印主の学問的背景や知的興味を体系的に把握する他、散逸したコレクションをバーチャルに復元する際の重要な情報。典籍の移動・流通情報としても活用が期待される。

(3) 先ずは、判読不能印の識別 なぜ読めないのかその原因を知る事から始める
別添の [参考資料] 蔵書印検索チャート を参照

鮮明だが読めない印影

読むためのツール (後掲の [参考文献] web サイト [附録] 篆書字形表 / 難読篆書字形表 参照) を活用し、極力簡便に、しかし読もうとする努力は惜しまない。

一部読めない箇所を含む印影

わかる情報の足し算で推読する。基本的には、篆書体の部首の特徴を覚える
見慣れる 篆字を覚える 読める の繰り返しで上達。くずし字の学習と同じ。

痕跡でしかない印影

塗り消し、擦り消し、紙片貼付、重ね捺し、虫損、汚損、破損、等々を " なか
ったこと " にしない。典籍に捺してある他の印からも推読できる。たとえば、

(a) 甲コレクションがまとまって乙コレクションに入る等のケースは散見され
る。甲印が墨滅されていても、乙印があることで類推できる可能性あり。

(b) 同一印主が複数印を捺すケースあり。

印影情報・印主情報・典籍情報等を頼りに、微かな痕跡・手がかりから判読で
きる可能性があるので、諦める前に先ず検索を行う。加えて、読めなくても極力
書誌情報として記述を。(「 他、黒印2顆あり」「 ほか1顆(墨滅) 」等。)
重要なのは情報の共有・記録することの意義。自館 OPAC や冊子体目録は勿論、CiNii
の書誌 [注記] 情報へ。作成した詳細な書誌 [印記] は、いつか必ず誰かの役に立つ。

三、印文を判読するツール

(1) 印影を探すために必要なこと / 印影を見るためのツール

印影の " ありそうな場所 " を知る

題簽、見返し、冊頭・巻頭 (本文一丁目)、巻末・冊末、後ろ見返し

押捺場所や印泥・形状等による、印主の違い (職種等) や、所用者の癖、あるいは法
則性を覚える。(例外にも留意する)

ルーペ、デジタルカメラ、スマホ等のカメラ機能 (+マクロレンズ) も、有効な
ツール。場合によっては PC に取り込んで画像処理 (反転等) をして判読する。
パターンの記憶とツールの活用、そして情報の漏れなき採録を。

(2) web ツールを使いこなす

NIJL「蔵書印データベース」の特性や後掲する web サイトの活用術を体得する

↳採録項目：1レコードにつき最大31のテキスト項目と印影等の画像で構成

[蔵書印情報] 蔵書印ID、**蔵書印文**、**蔵書印文別表記**、**サイズ**(縦×横)、**色**、**陰陽**、**形状**、**印影外郭**、**印文文字数**、**印文出現位置**、**印文行数**、**印文改行表記**、**書体**

[蔵書印主情報] 人物ID、蔵書印主、蔵書印主よみ、印主職種、時代、人物情報

[典籍情報] 典籍ID、書名、書名よみ、著者、刊記、所蔵先、請求記号

[その他] レコードID、典拠資料、典拠資料URL、備考、画像有無

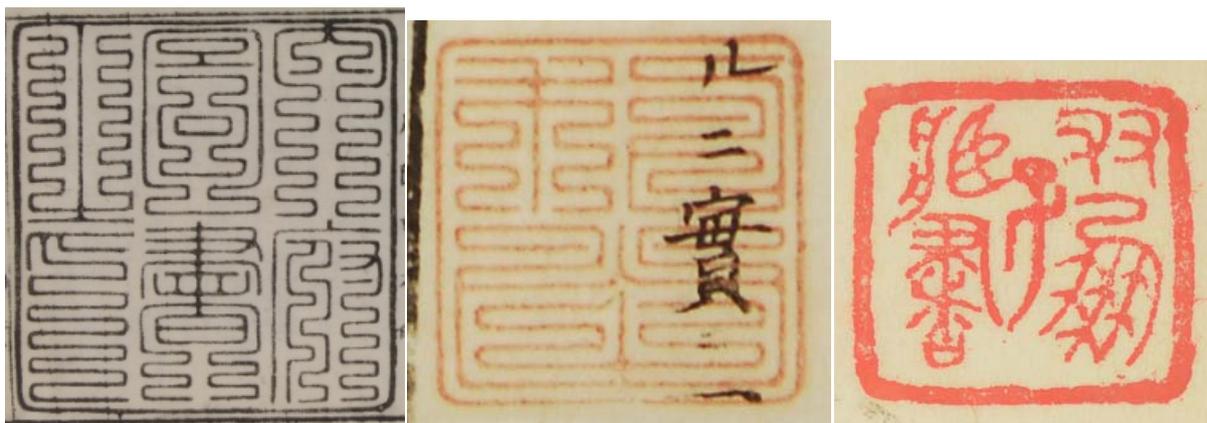
[画像] 印影(他、押捺箇所見開き丁・印材等)

練習問題

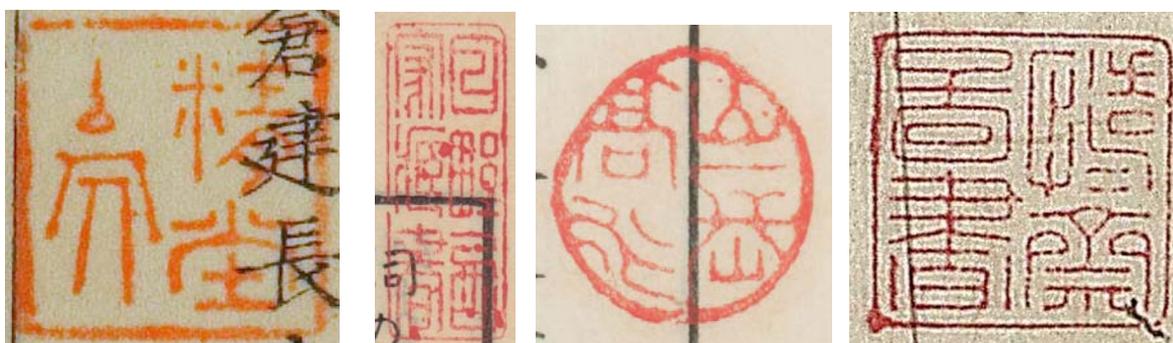
(1) 鮮明だが読めない印影 判読ポイントおよび留意点



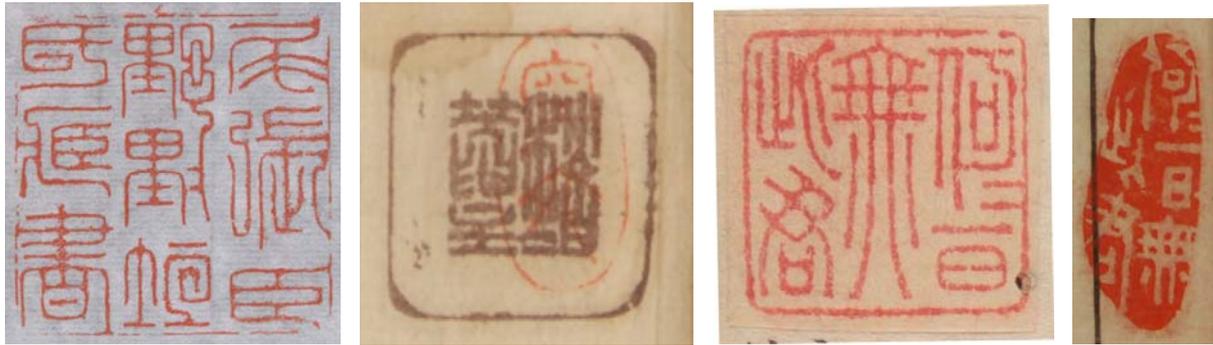
部首等の「部品」検索、頻出の難読字、「蔵書印データベース」検索フィールドの活用



九疊篆や金文の書体に慣れる



頻用される用語、特徴的な文字や用法（回文印・踊り字）に慣れる



様々な踊り字の用法

(2) 一部読めない箇所を含む印影



情報の足し算で、不明箇所を推読する

[印文 (1) 読み]

(2) は講義中で

聴雨軒蔵書記

作並氏錦綱堂図書記

神垂祈禱冥加正直

内府図書之印

和田

友鳳子蔵書

精堂主人

日野西家蔵書

山高水長

慥々斎図書

尾張臣野野垣氏蔵書

松柏庵主

何可一日無此君

参考文献

字典・印譜類

- ・ 太甫熙永編『篆書字典』国書刊行会、1978年
- ・ 蓑毛政雄著『必携篆書印譜字典』柏書房、1991年(新装版:柏美術出版、1993年)
- ・ 中野三敏編『近代蔵書印譜』青裳堂書店、1984年-2020年(初編~6編)
- ・ 渡辺守邦・後藤憲二共編『増訂 新編蔵書印譜』青裳堂書店、2013年-2014年(上・中・下巻)

研究書

- ・鈴木俊幸著『書籍流通史料論 序説』勉誠出版、2012年

web サイト 一部、広告等が表示される民間・個人運営サイトを含む

漢字の「部品」(「部件」) 検索

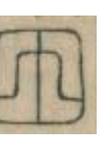
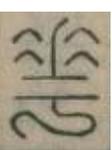
- ・字源 - jigen.net - <http://jigen.net/>
- ・CHISE IDS 漢字検索 <http://www.chise.org/ids-find>
- ・漢字古今字資料庫 <http://xiaoxue.iis.sinica.edu.tw/ccdb?ccmapcode=4>
篆書字形・書法検索
- ・篆字部首検索システム https://base1.nijl.ac.jp/~collectors_seal/seal_script/
- ・篆書データベース検索 <http://codh.rois.ac.jp/tensho/search/>
- ・書法大師 - 国学大師 <http://www.sfds.cn/>
- ・書法字典 <http://www.shufazidian.com/>
金文・甲骨文等の検索
- ・漢字古今字資料庫 <http://xiaoxue.iis.sinica.edu.tw/ccdb?ccmapcode=2>
- ・Chinese Etymology 字源 <http://hanziyuan.net/>
蔵書印データベース
- ・国文学研究資料館「蔵書印データベース」 http://base1.nijl.ac.jp/~collectors_seal/
- ・九大コレクション「蔵書印画像」(九州大学附属図書館)
https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_browse/seals/?lang=0
- ・「中国歴代人物印鑑データベース」(浙江図書館)
<http://diglweb.zjlib.cn:8081/zjtsg/zgjcj/index.htm>
- ・「蔵印知識庫」(上海図書館) <http://data.library.sh.cn/gj/webapi/toSealList>
- ・「古漢籍善本數位化資料庫 印記資料系統」(中央研究院歷史語言研究所傅斯年図書館)
http://rarebookdl.ihp.sinica.edu.tw/sealdb/System/Advance_Query.jsp
- ・「蔵書印 DB」(高麗大学校海外韓国学資料センター) <http://kostma.korea.ac.kr/>
AI-OCR による文字認識
- ・「AI 手書きくずし字検索」 <http://ai-kuzushiji.net>
- ・「字鑑」 <https://api.shufashibie.com/page/index.html>

検索サイトを効率よく横断的に使いこなし、判別のヒントや情報を繋ぎ合わせ判読を行う

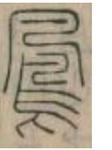
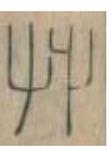
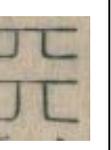
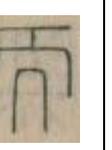
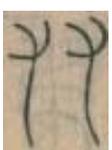
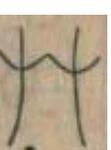
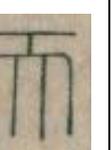
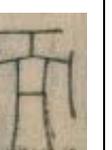
附録・篆書字形表 / 難読篆書字形表

画像は『漢篆千字文』『偏類六書通』(国立国会図書館デジコレ)に拠る

篆形類似(間違えやすい篆書体)

華	雲	為 爲	卿 卯	田	山	台 臺	堂 臺
							
							
							

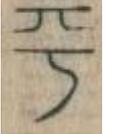
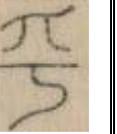
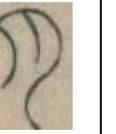
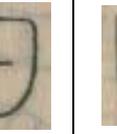
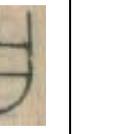
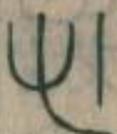
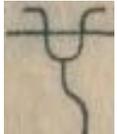
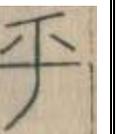
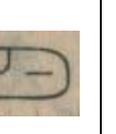
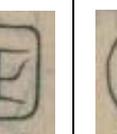
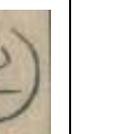
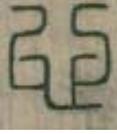
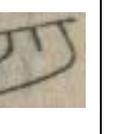
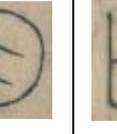
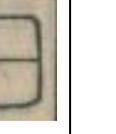
1

友	艸	竹	朋 鳳	鳥	鳥 隴	天	而
							
							
							

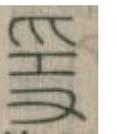
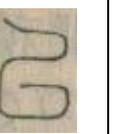
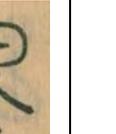
2

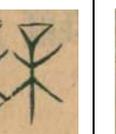
1

- 1 印文全体で判断する
- 2 「双」と混同しないこと

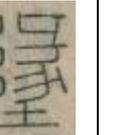
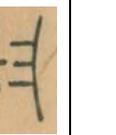
心	也	平	乎	月	舟	日	日
							
							
							

省文篆（画数が減っているもの）

從 從	隱 隱	以	垂 叒	学 學	宝 寶	無 无	香 𦵏
							

齋 齋	藏 藏	淵 困	塊 出	国 國 圀	梅 棣 某	法 金	軒
							

繁文篆（画数が増えているもの）

和 𦵏	仙 僊	古 𦵏	善 𦵏	地 墜	本 𦵏	法 灑	軒
							

本稿は JSPS 科研費 JP18H05304 / JP20K20325（研究課題：蔵書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と篆字学習インターフェイスの開発）による成果の一部を含む。

藏 <small>(藏)</small>						小篆 (以下同)	中					
							以					
書							其					
							平					
印							主					
圖 <small>(圖)</small>							唐					
							卷					
之							曲					
記							道					
齋 <small>(齋)</small>							壽 <small>(壽)</small>					
軒							無					
庵 <small>菴</small>						盒字 仮借	台 <small>(臺)</small>					
堂							史					
氏							千					
字							公					
父							山					
者							居					
香						皂字 通用						

※ 楷書体から類推しにくい字体を中心に取上げた。部首を一部含む。

※ 本資料はJSPS科研費 JP18H05304 / JP20K20325 (研究課題：蔵書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と篆字学習インターフェイスの開発) の助成を受けたものです。

雲						鳥							
						島					<small>陽字通用</small>		
華						在							
天						日							
夫						神							
而						得							
士						出							
正						友							
田						君							
世						春							
矢						来							
長						用							
早						法							
甲						深					<small>突字通用</small>		
徳						此							
叟						重							
真						兆							

※ 楷書体から類推しにくい字体を中心に取り上げた。部首を一部含む。

※ 本資料はJSPS科研費 JP18H05304 / JP20K20325 (研究課題：篆書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と篆字学習インターフェイスの開発) の助成を受けたものです。

亅				扌				月				
刀				戈				月(肉)				
				女				舟				
斤				方				虫				
				豸				良				
力				欠				良				
冂				牛				彡(水)				
大				禾				彡				
井(収)				廾				冂(阜)				
女				皿								
子				穴				冂(邑)				
寸				竹								
彳				艹(艹)				金				
心				糸				隹				
亻				耳				走				
灬(火)				衣				辵				
赤				西				互				

※ 基本の部首を中心に取上げた。

※ 本資料はJSPS科研費 JP18H05304 / JP20K20325 (研究課題：蔵書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と篆字学習インターフェイスの開発) の助成を受けたものです。

[参考資料] 蔵書印検索チャート

判読不能印の識別から印文判読へ

鮮明だが読めない印影

*** 読める文字と印影情報 (印文出現位置・印文文字数・印文行数・陰陽・形状 等) を、NIJL「蔵書印データベース」 http://base1.nijl.ac.jp/~collectors_seal/ の「詳細検索画面」で検索 ***



蔵書印文..... 「 屋文庫 」
 印文出現位置
 印文文字数... 5 文字
 印文行数... 3 行

検索ワード入力「屋文庫」 or 「 / 屋 / 文庫 」
 検索ワード入力「3屋 4文 5庫」
 検索ワード範囲指定「5 ~ 5」
 検索ワード範囲指定「3 ~ 3」

長方形印は「枯 堂」と簡単に読め、蔵書印 DB で類似する印がヒット。
 +
 2 文字目の が烈火 (灬) と分かれば、「魚」と類推。
 下掲 B. や C. ~ F. の web サイト、あるいは冊子体の印譜類で検索し、確認・確定。



「百足屋文庫」
 高山堂青木恒三郎の所用印

一部読めない箇所を含む印影

*** わかる情報の足し算で推読 ***



蔵書印文..... 「 館圖 」 「 館圖書」と類推 検索ワード入力「館 / 図書」
 +
 1 文字目の が三水 (氵) で、 が「子」と分かれば、文字類推。

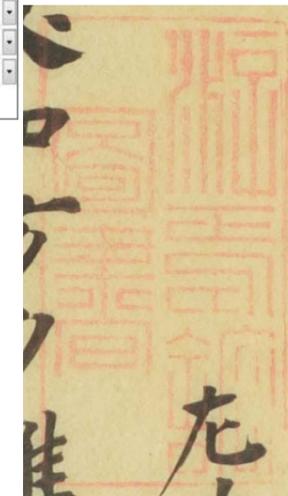
類推不可
 の場合は

下掲の A. 字源 - jigen.net - で「部品」検索、
 ヒットした候補群から目星を付ける。



『漢篆千字文』

→ 「游 館図書」で、蔵書印 DB 検索 →



「游焉館図書」
 府内藩藩校・遊焉館の所用印

部首や声符など漢字構成要素 (部品) が篆書体でどのような形になるか、その特徴を覚えておくと判読に役立つ
「難読篆書字形表」を活用する

痕跡でしかない印影

*** 塗り消し、擦り消し、紙片貼付、重ね捺し、虫損、汚損、破損 等を " なかったこと " にしない ***



典籍に捺してある他の印から推読。(a) 甲コレクションがまとめて乙コレクションに入る等のケース散見、甲印が墨滅されていても乙印があることで類推できる可能性あり。
 (b) 同一印主が複数印を捺すケースあり。

蔵書印文..... 「 本 」 (表紙に押捺) 同一資料の見返し印
 +
 印影情報 (印文行数・陰陽・形状 等) を蔵書印 DB で検索



→ データベースや印譜で確認し
 同定する



「久志本」
 久志本常影の所用印
 (『新編蔵書印譜』 所載)

微かな痕跡・手がかりから判読できる可能性あり、諦める前に検索を

印文を特定する / 仮定するために、有用な web サイト

- A. 字源 - jigen.net - <http://jigen.net/>
- B. 篆字部首検索システム https://base1.nijl.ac.jp/~collectors_seal/seal_script/
- C. 篆書データベース検索 <http://codh.rois.ac.jp/tensho/search/>
- D. 書法大師 - 国学大師 <http://www.sfds.cn/>
- E. 書法字典 <http://www.shufazidian.com/>
- F. 漢字古今字資料庫 <http://xiaoxue.iis.sinica.edu.tw/ccdb?ccmapcode=4>

- 「部品」検索
 漢字 (1 文字) 検索、複数の部首検索にも対応 (漢字構造をスペースでつなげる)
 篆書字体データセットを、文字または文字コードで検索
- 「漢字」検索
- 「篆刻」検索
- 「字形」検索、部品は楷書の「部件」検索を利用